

子どもの姿と先生方の関わりから学ぶ『オープncラス』



11月13日（月）～17日（金）に先生方が空き時間等を利用して、いろんな学年の教室の授業の様子を参観する『オープncラス』の取組を実施しました。

普段から同じ階の授業の様子は廊下から観たり、教室を覗いて話をしたりすることはあっても、じっくりと時間をかけて授業の様子を観る機会は、教師一人当たりの持ち時間が多い小学校においては、そんなにとれないのが現状です。

1学期実施したオープncラスでは、特に空き時間が少ない低学年の先生方が他の教室へ行く時間がなかったとの声を受けて、高学年の先生方が低学年の授業を数回受け持つことで、低学年の先生方も他の教室を観てまわる機会を



生み出してくれました。

また、20日はオープンクラスの校内研修を行いました。先生方が参観した感想をジャムボードに打ち込み、そのコメントを基に意見交流や疑問を出し合う機会をとりました。

2023年 2年生 算数

自分ペース学しゅう

【たいせつなこと】

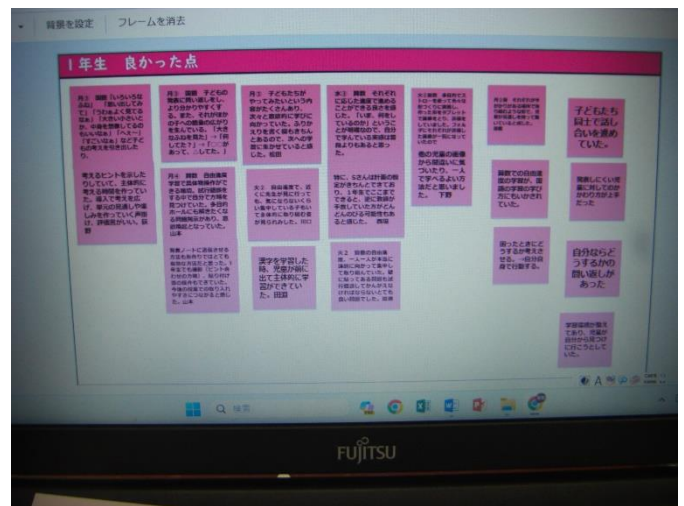
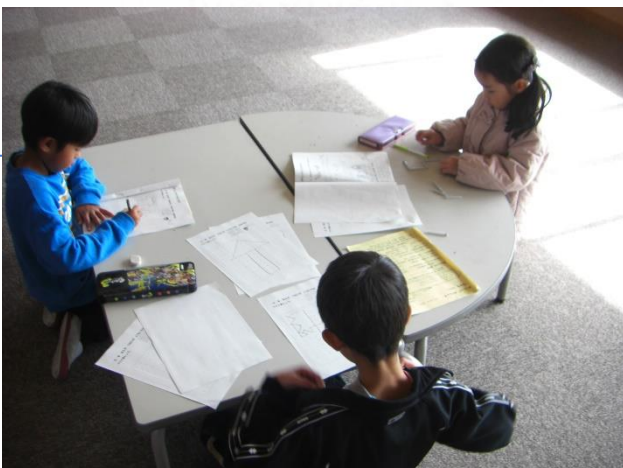
じぶんの本気を 出しながら、じぶんの力と じぶんなのはやさが
がくしゅうを すすめましょう。

【こんなときはどうする？】

①よていよりも はやくすすんでしまったら・・・？
→どんどんすすめたり、学びなおしにつかきましょう。
(計ド、ショートテスト、プリント、きょうか書もんだいなどを してもいいです。)

②分からないことがあったら・・・？
→多くてきしつの ワークスペースへ 行きましょう。
→それでもわからないときは、先生にヒントをもらおう。

③もしもつかれてしまったら・・・？
→まわりのじゃまにならないように できることを
しよう！ どれくらい休むかも 自分できめよう。



今回は1・2年生の先生がこの機会に算数科で「自由進度学習」に取り組んでいて、その取組についての意見が多かったです。1年生「かたちづくり」2年生「はこのかたち」の同系列単元をこの時期に配置することで、大変な教材準備やゴールの位置づけなどを相談して進めてきていました。

私も参観して感じたことを2つ伝えました。

1つは、子どもたちがやってみたいと思える仕掛けづくりが上手にしてあったことです。教室横の多目的スペースを活用して、タブレットやプリント、実物、具体物と学ぶ「場所」と「時間」を子どもたちにかえすことを意識した取組でした。この学習の意味を子どもたちにしっかりと伝えていたこと、例えば「友だちより遅くなってもいいよ。自分ペースで。」「困ったときは先生に頼る前に、〇〇をみるといいよ」など、自分でできる術も子どもたちが分かっているからこそ安心して自分から問題に挑戦できていたと感じました。

この学習方法は「自由進度」というネーミングからか、先生方の中でもいろんな誤解が生まれやすいと感じています。しかし、この学習方法で効果的に身につけられる力を先生方が必要と感じ、自分の担任している子どもたちともやってみたいと思うことができたそんな会になったのではないかと思います。そのカギになるのが教育目標に掲げている「じりつ(自律・自立)」と考えています。

3 学期のオープンクラスでは新たな単元でまた違った学年で取組が進んでいくことで「じりつ(自律・自立)」した児童の育成につながっていけば考えています。